

環境審議会委員からの事前意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
1	資料 1-1	—	全体	<p>昨年の白書本編は、第1章の取り組み状況は文章のみでしたので、理解するのに苦労しましたが、今年度版は、カラー写真やイラスト、表を活用しており、楽しく理解することができました。文字も少し大きく太くなり、明朝体からゴシック体にする事で、見ていて疲れない読者に優しい白書になったと思います。昨年は現状と課題がひとくくりに記載されていましたが、現状、取り組み、課題、今後の方向性の順に分けて表現したことで、環境の現状がより理解でき、取り組み内容、課題、今後の方向性の認識も深められる紙面構成に変化しました。読者が、自らどう行動すべきかを考えることができる白書に近づいたと感じます。また、新たにコラムが随所に挿入され、県民に行動を促す啓発の役割としても有効だと評価いたします。</p> <p>第2章環境指標の達成状況は、昨年と違い、冒頭に評価の考え方と達成状況一覧が入りました。環境指標の全体観が見えることで、環境指標ごとにどの部分がポイントで、今後どの様な施策が必要なのかが共通認識できるようになりました。第1章と第2章中での文章の重複表現も整理され、さらに参考資料もコンパクトになりました。総ページ数は60ページ削減され、手に取りやすく、より身近な白書になったと思います。</p>	—	—	高橋委員

環境審議会委員からの事前意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
2	資料 1-1	ー	白書本編	白書本編の1枚目には、県知事の「環境白書の発刊に当たって」が入る予定と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおり、入れる予定です。	生活環境総務課	高橋委員
3	資料 1-1	6	第1節1 放射性物質による環境 汚染からの回復 (5) 環境創造センター ア 環境創造センター における取組	放射線計測，除染・廃棄物，環境動態，環境創造の4つの部門で調査研究を進めたとありますが，具体的にどのような研究がすすめられ，成果は何かをアピールするためにも記載した方がよいと思います。	下記のとおり追記いたします。 「放射線計測（放射性物質の分析技術、放射線の測定技術の開発等）、除染・廃棄物（仮置場における資材耐久性の研究、廃棄物の処理における放射性物質等の適正管理手法の確立等）、環境動態（放射性核種の環境中における移行挙動の実態把握、野生動物に対する原子力発電所事故の影響に関する研究等）、環境創造（猪苗代湖の水環境に関する研究、正確な情報の効果的な発信のあり方に関する研究）の4つの部門で調査研究を進めるとともに令和元年5月に開催した成果報告会で各部門の取組みの成果や進捗を報告し、その内容をホームページに掲載しました。」	環境共生課	渡邊委員

環境審議会委員からの事前意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
4	資料 1-1	7	第1節 1 放射性物質による環境 汚染からの回復 課題	「30年以内の県外最終処分が確実に実施されるよう、国の取り組みを確認する必要がある。」とありますが、この件は法律で定められていても確認しなければならない状況なのでしょうか。かえって不安になる記載です。「実施されるよう、国の準備を継続的に確認する。」などの方が良いかと思いますが、上記記載が必要な理由があるのであれば追記しておいた方が良いと思います。「・・・のため、30年以内の県外最終処分が確実に実施されるよう、国の取り組みを確認する必要がある。」など。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 「法律に定められている搬入開始後30年以内の県外最終処分が確実に実施されるよう、国の取組の進捗状況を継続的に確認する必要があります。」	中間貯蔵施設等 対策室	渡邊委員
5	資料 1-1	7	第1節 1 放射性物質による環境 汚染からの回復 課題	課題として環境創造センターの情報発信が示されていますが、レターニュースなどの発行、HPなどで実施している実態も記載しておく必要があると思います。	情報発信の実施状況は、P6の下から2つ目の○に記載があり、御意見を踏まえて下記のとおり追記します。 「・・・各種学会やシンポジウムへの参加、論文の投稿、 <u>ニュースレターの発行（四半期毎）</u> などにより、様々な形で情報発信を行いました。」 なお、P7の「課題」については情報発信を実施している現状を踏まえ下記のとおり修正いたします。 「環境創造センターについては、取組や成果について <u>引き続き</u> 県民等へ広く発信すること及び県民等のニーズを把握することが重要です。」	環境共生課	渡邊委員

環境審議会委員からの事前意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員																		
6	資料 1-1	10	第1節 2 原子力発電所及び周辺 地域の安全確保 (2) 原子力発電所周辺の 環境モニタリングの実 施	○3つ目、4つ目：トリチウムの5地点の実施，ホンダワラの2 地点の調査→震災前の結果と比較したデータを記載してくださ い。	<p>下記のとおり追記いたします。</p> <p>「平成30年度から震災以降中断していた大気中水分 のトリチウム濃度の調査を5地点で再開しました。<u>そ の結果、2地点で事故前の測定値の範囲を上回りました。</u>」</p> <p style="text-align: right;">(単位：mBq/m³)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事故前（平成20年度～）</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大熊町夫沢</td> <td>2.6～13</td> <td>16～22</td> </tr> <tr> <td>双葉町郡山</td> <td>1.9～16</td> <td>5.1～56</td> </tr> </tbody> </table> <p>「令和元年度から震災以降中断していたホンダワラ (海藻)の放射性物質濃度の調査を2地点で再開しま した。<u>その結果、セシウム-134及びセシウム-137が 事故前の測定値の範囲を上回りました。</u>」</p> <p style="text-align: right;">(単位：Bq/kg 生)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事故前（平成13年度～）</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セシウム-134</td> <td>ND</td> <td>ND～0.40</td> </tr> <tr> <td>セシウム-137</td> <td>ND</td> <td>0.47～3.5</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">「ND」：検出限界未満</p>		事故前（平成20年度～）	令和元年度	大熊町夫沢	2.6～13	16～22	双葉町郡山	1.9～16	5.1～56		事故前（平成13年度～）	令和元年度	セシウム-134	ND	ND～0.40	セシウム-137	ND	0.47～3.5	放射線監視室	渡邊委員
	事故前（平成20年度～）	令和元年度																							
大熊町夫沢	2.6～13	16～22																							
双葉町郡山	1.9～16	5.1～56																							
	事故前（平成13年度～）	令和元年度																							
セシウム-134	ND	ND～0.40																							
セシウム-137	ND	0.47～3.5																							

環境審議会委員からの事前意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
7	資料 1-1	13	第2節 1 低炭素社会への転換 (1) 温室効果ガス排出の抑制 指標：森林整備面積	コメントで放射性物質の影響から森林所有者等による森林整備が回復しないと記載されていますが、(P48の)指標15では事故当年の整備が7387ha、次年度が6256ha、H28年度は6406ha、それからほぼ減少傾向にあります。森林除染がされていないことが大きな理由とは思いますが、変化傾向をみると別に理由があるように思います。回復するためにも調査する必要があると思います。	<ul style="list-style-type: none"> ・事故前は森林所有者等を主体に年間1万ha程度整備されていましたが、事故後のH23からは放射性物質の影響から所有者等による整備の取りやめが増加してきたことでH25までは減少傾向となりました。 ・H25からは停滞した森林整備の回復に向けて、所有者に代わり公的機関が主体となり、森林整備とその実施に必要な放射性物質対策（放射線量測定や放射性セシウムを含む土砂の流出を抑制するための丸太筋工等）を実施しておりますが、森林汚染による作業の掛かり増しから労働力が逼迫し、全体の森林整備面積としては横ばいの状況が続いています。 ・事故以降、所有者等による森林整備の支援を継続していますが、利用可能な森林資源が充実してきており、「伐って、使って、植える」の適正な森林保全に繋げる支援も強化しています。 ・今後は、放射性物質の影響の低い地域から所有者等への情報発信に努め森林整備に対する意識醸成を図り森林整備面積が増加するよう対策を講じてまいります。 	森林計画課 森林整備課	渡邊委員

環境審議会委員からの事前意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
8	資料 1-1	19	第2節 2 循環型社会の形成 (1) 環境に負荷をかけないライフスタイルへの転換	「地域まるごと省エネ計画策定」や「食べ残しゼロ協力店」「クールチョイス・ウォームチョイス」など具体的な数値目標を立て、推進事自治体、商店等への支援策等をご検討ください。	地域まるごと省エネ計画（地方公共団体実行計画（区域施策編）を兼ねる）につきましては、福島県地球温暖化対策推進計画において、令和2年度までの策定目標を20市町村以上とし、策定に係る研修会の開催やアドバイザーの派遣などの支援に取り組んでいるところです。 クール（ウォーム）ビズについても、福島県地球温暖化対策推進計画において、令和2年度までにクールシェアスポット登録数を450施設以上とする目標を立て、クール（ウォーム）シェアの取組を推進しているところです。 指標の設定、数値目標等については、環境基本計画の改定に合わせて引き続き検討してまいります。	環境共生課	渡邊委員
9	資料 1-1	19	第2節 2 循環型社会の形成 (2) 廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用	「地域まるごと省エネ計画策定」や「食べ残しゼロ協力店」「クールチョイス・ウォームチョイス」など具体的な数値目標を立て、推進事自治体、商店等への支援策等をご検討ください。	食べ残しゼロ協力店については、平成30年度より年間300店を目標に取り組んできたところであり、認定店に対しては、木製認定証やポスター等の啓発資材の提供、希望する認定店には持ち帰り容器を配布するといった支援をしているところです。 指標の設定、数値目標等については、環境基本計画の改定に合わせて引き続き検討してまいります。	一般廃棄物課	渡邊委員

環境審議会委員からの事前意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
10	資料 1-1	22	第2節 2 循環型社会の形成 (3) 廃棄物の適正な処理 エ 海岸漂着物の処理 推進	海岸漂着物対策推進計画を策定して、対策を推進したとありますが、具体的な内容を表記してください。	下記のとおり追記いたします。 「・・・令和元年5月に策定し、 <u>本計画に基づき、海岸管理者等が海岸漂着物等の回収及び処理を行うとともに、小学生の副読本や家庭向けのリーフレットに海洋汚染の現状を盛り込み一人一人の取組の重要性を啓発するなど、海岸漂着物対策を推進しました。</u> 」	一般廃棄物課	渡邊委員
11	資料 1-1	23	第2節 2 循環型社会の形成 (4) 環境と調和した事業 活動の展開 ア 環境にやさしい事業 活動の促進	環境創造資金融資制度の利用状況の記載あると良いと思います。（資料編まで見ない場合が多いと思いますので）	下記のとおり追記いたします。 「・・・環境創造資金融資制度を設けています（ <u>融資件数：継続4件</u> ）。	環境共生課	渡邊委員
12	資料 1-1	31	第2節 4 良好な生活環境の確保 (1) 大気、水、土壌等の 環境保全対策 ア～オ (2) 化学物質の適正管理 等 ア、イ	大気環境保全対策からp32のコミュニケーション推進まで11項目「監視」「指導」「調査」「推進」「支援」と記載されていますが、具体的件数などを記載した方が活動の実態が分かります。	下記のとおり追記いたします。 (1) 大気、水、土壌等の環境保全対策 ア ○1つ目 「 <u>大気汚染防止法に基づいて、県及び中核市（福島市、郡山市、いわき市）において大気環境測定局を37カ所に配置し・・・</u> 」	水・大気環境課	渡邊委員

環境審議会委員からの事前意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
〃	〃	〃	〃	〃	<p>下記のとおり追記いたします。</p> <p>(1) 大気、水、土壌等の環境保全対策 ア ○2つ目 「<u>188事業場</u>においてばい煙発生施設等への・・・」</p>	水・大気環境課	渡邊委員
〃	〃	〃	〃	〃	<p>下記のとおり追記いたします。</p> <p>(1) 大気、水、土壌等の環境保全対策 ア ○3つ目 「・・・立入調査を<u>99件</u>行い、作業基準等の遵守について監視・指導を行うとともに、<u>県及び中核市</u>において<u>県内10ヵ所</u>で一般環境大気中の・・・」</p>	水・大気環境課	渡邊委員
〃	〃	〃	〃	〃	<p>下記のとおり追記いたします。</p> <p>(1) 大気、水、土壌等の環境保全対策 イ ○1つ目 「<u>水質汚濁防止法</u>に基づき、<u>県、中核市及び国土交通省</u>において、<u>公共用水域198地点</u>及び<u>地下水264地点</u>で常時監視を行うとともに、<u>331特定事業場</u>等に対し、・・・」</p>	水・大気環境課	渡邊委員

環境審議会委員からの事前意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
//	//	32	//	//	<p>下記のとおり追記いたします。</p> <p>(1) 大気、水、土壌等の環境保全対策 イ ○3つ目</p> <p>「・・・県、国、市が連携し、<u>8地点</u>で水質調査を行い、影響がないことを確認しました。・・・県は下流域の阿武隈川において<u>6地点</u>で水質調査を行い、影響がないことを確認しました。・・・」</p>	水・大気環境課	渡邊委員
//	//	//	//	//	<p>下記のとおり追記いたします。</p> <p>(1) 大気、水、土壌等の環境保全対策 ウ</p> <p>「・・・土壌汚染が確認された土地<u>3カ所</u>を区域指定し、・・・」</p>	水・大気環境課	渡邊委員
//	//	//	//	//	<p>下記のとおり追記いたします。</p> <p>(1) 大気、水、土壌等の環境保全対策 エ</p> <p>「騒音規制法に基づき、<u>環境基準の類型指定地域を有する13市町村</u>において自動車騒音の常時監視を実施し・・・把握しました。</p> <p><u>※町村（2町村）は県が調査し、市（11市）においては市が調査を行っています。」</u></p>	水・大気環境課	渡邊委員

環境審議会委員からの事前意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
//	//	//	//	//	<p>下記のとおり追記いたします。</p> <p>(1) 大気、水、土壌等の環境保全対策 オ 「また、県内においては、・・・、<u>県、郡山市及びいわき市において県内5ヵ所で酸性雨状況を監視しました。</u>」</p>	水・大気環境課	渡邊委員
//	//	//	//	//	<p>下記のとおり追記いたします。</p> <p>(2) 化学物質の適正管理等 ア 「<u>ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、県、中核市及び国土交通省において県内153地点で大気、水質、地下水及び土壌環境におけるダイオキシン類の調査を行い、また、30事業場において排出状況調査及び特定施設の監視・指導等を行いました。</u>」</p>	水・大気環境課	渡邊委員
//	//	//	//	//	<p>下記のとおり追記いたします。</p> <p>(2) 化学物質の適正管理等 イ 「・・・<u>化学物質リスクコミュニケーションの取組</u>を推進するため、<u>事業者や高校生を対象としたセミナー等の開催（2回）や企業訪問（2事業者）等により、事業者への普及・啓発や支援を行いました。</u>」</p>	水・大気環境課	渡邊委員

環境審議会委員からの事前意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
13	資料 1-1	36	第2節 5 環境ネットワーク社会 の構築と環境に配慮し たゆとりある生活空間 の形成 (2) 環境に配慮したゆと りある生活空間の形成 イ 景観形成活動・環境 美化活動の推進	景観形成活動の2項目、(3) 情報収集・提供と発信の上から3 項目までにも具体的な件数など記載があった方が良いと思いま す。	無電柱化について、下記のとおり追記いたします。 「・・・歩行空間の確保に取り組みました(無電柱化 実施箇所数：5箇所)。」	道路整備課	渡邊委員
14	資料 1-1	36	第2節 5 環境ネットワーク社会 の構築と環境に配慮し たゆとりある生活空間 の形成 (2) 環境に配慮したゆと りある生活空間の形成 イ 景観形成活動・環境 美化活動の推進	景観形成活動の2項目、(3) 情報収集・提供と発信の上から3 項目までにも具体的な件数など記載があった方が良いと思いま す。	環境美化活動について、下記のとおり追記いたしま す。 「・・・散乱ゴミ対策を促進しました(令和元年度 参加人数228,033人 ゴミの収集量1,473.23t)。」	環境共生課	渡邊委員
15	資料 1-1	36	第2節 5 環境ネットワーク社会 の構築と環境に配慮し たゆとりある生活空間 の形成 (2) 環境に配慮したゆと りある生活空間の形成	景観形成活動の2項目、(3) 情報収集・提供と発信の上から3 項目までにも具体的な件数など記載があった方が良いと思いま す。	○の一つ目 「・・・環境審議会において報告するとともに、市 町村等関係機関183箇所に送付したほか、ホーム ページ等により公表しました。 ○の二つ目 「ホームページで環境アドバイザー等派遣事業(環境 アドバイザーを25回派遣、延べ803名受講)やせせら ぎスクール指導者養成講座(3会場、延べ49名参 加)等、環境教育・学習関連事業の情報提供などを行 いました。」	生活環境総務課	渡邊委員

環境審議会委員からの事前意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
16	資料 1-1	36	第2節 5 環境ネットワーク社会の構築と環境に配慮したゆとりある生活空間の形成 (2) 環境に配慮したゆとりある生活空間の形成	景観形成活動の2項目, (3) 情報収集・提供と発信の上から3項目までにも具体的件数など記載があった方が良いと思います。	下記のとおり修正いたします。 「県、関係省庁及び事業者などが連携し、国の総合モニタリング計画に基づき、 <u>空間線量率（10,175地点）、港湾・海面漁場（65地点）、日常食（21検体）</u> などの・・・」	放射線監視室	渡邊委員
17	資料 1-1	39	環境指標（全般）	環境指標の達成状況ですが,数値目標の設定は施策に関するPDCAサイクルを動かす重要な指標です。全体的に県の施策と一体化した数値目標の設定が必要と思いますので,今後ご検討ください。特に,指標をa:県の施策と一体化したものについては数値目標を設け,達成状況を確認する。◎, ○, △, Xを付けて,悪いものは施策を再検討する。 b:環境指標としてモニタリングしているものには,計測値を知らせることが重要ですので数値目標を設定しないでデータを継続的に示す。 などの区分を明確にした方が分かりやすいと思います。	指標の設定、数値目標等について、環境基本計画の改定に合わせて引き続き検討してまいります。	生活環境総務課	渡邊委員
18	資料 1-1	42	環境指標1 環境放射線量	コメント:「会津と南会津では原発事故前の自然放射線レベルにまで回復してきた」とありますが,合庁だけのデータで代表できるのでしょうか。	合同庁舎以外にも県内各地にモニタリングポストは設置されていますが,会津・南会津ではそのいずれも原発事故前における県内の空間線量率のレベルに回復してきています。	放射線監視室	渡邊委員

環境審議会委員からの事前意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
19	資料 1-1	42	環境指標 2 水浴場の放射性物質基準適合率	モニタリングは利用者にとって重要なデータですが、施策との対応はないので濃度など、意味のある数値の表記をご検討ください。	コメント欄を下記のとおり修正いたします。 「 <u>水浴場の環境放射線モニタリング調査の結果、放射性セシウムは全ての水浴場で不検出であり、水浴場の放射性物質に係る水質の目安（10Bq/L以下）を上回る地点はなかった。</u> 」 なお、水浴場の放射線モニタリング調査結果は、資料編 P 64～65に掲載しております。	放射線監視室	渡邊委員
20	資料 1-1	43	環境指標 3 除染特別地域における住宅等除染の進捗率 環境指標 4 市町村除染地域における住宅除染の進捗率	「H28年度に終了」等の記載でよいと思います。	指標としては、それぞれ28、29年度に終了しているところではありますが、福島県の除染は「除染特別地域」と「市町村除染地域」において進められてきたことから、そうした状況を伝えるとともに、誤解が生じないようにコメント欄のとおり記載させて頂いているところです。	除染対策課	渡邊委員
21	資料 1-1	44	環境指標 6 中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送量（累計）	2. 44ページの環境指標 6 の棒グラフで、H29とH30の間に55という数字がありますが、ミスプリントだと思われます。ご確認いただければと思います。	H29年度の実績値を表示しておりました。 スペースの関係からこの位置に表示しておりましたが、分かりにくい位置であったことから、修正いたします。	中間貯蔵施設等対策室	高橋委員

環境審議会委員からの事前意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
22	資料 1-1	48	環境指標 1 5 森林整備面積	コメントで放射性物質の影響から森林所有者等による森林整備が回復しないと記載されていますが、指標15では事故当年の整備が7387ha、次年度が6256ha、H28年度は6406ha、それからほぼ減少傾向にあります。森林除染がされていないことが大きな理由とは思いますが、変化傾向をみると別に理由があるように思います。回復するためにも調査する必要があると思います。	<ul style="list-style-type: none"> ・事故前は森林所有者等を主体に年間1万ha程度整備されていましたが、事故後のH23からは放射性物質の影響から所有者等による整備の取りやめが増加してきたことでH25までは減少傾向となりました。 ・H25からは停滞した森林整備の回復に向けて、所有者に代わり公的機関が主体となり、森林整備とその実施に必要な放射性物質対策（放射線量測定や放射性セシウムを含む土砂の流出を抑制するための丸太筋工等）を実施しておりますが、森林汚染による作業の掛かり増しから労働力が逼迫し、全体の森林整備面積としては横ばいの状況が続いています。 ・事故以降、所有者等による森林整備の支援を継続していますが、利用可能な森林資源が充実してきており、「伐って、使って、植える」の適正な森林保全に繋げる支援も強化しています。 ・今後は、放射性物質の影響の低い地域から所有者等への情報発信に努め森林整備に対する意識醸成を図り森林整備面積が増加するよう対策を講じてまいります。 	森林計画課 森林整備課	渡邊委員

環境審議会委員からの事前意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
23	資料 1-1	55	環境指標 3 2 認証を受けた特別栽培 農産物の作付面積	指標32, 指標33, 指標34, 指標38はそもそも母数となる作付面積や就労者が減少しているのが原因ではないのでしょうか。	コメント欄を下記のとおり修正いたします。 「 <u>高齢化等により県全体の就農者、作付面積が減少しており、さらに原発事故による風評等を理由に中断するケースもあることから、認証面積は減少傾向にある。</u> 」	環境保全農業課	渡邊委員
24	資料 1-1	56	環境指標 3 3 エコファーマー認定件数	指標32, 指標33, 指標34, 指標38はそもそも母数となる作付面積や就労者が減少しているのが原因ではないのでしょうか。	コメント欄を下記のとおり修正いたします。 「 <u>・・・高齢化等により県全体の就農者、作付面積が減少しており、さらに原発事故による風評等を理由に中断するケースもあることに加え、更新要件（前回計画の目標値を上回る目標設定等）を満たすことができない等の理由から認定者数が伸び悩んでいる。</u> 」	環境保全農業課	渡邊委員
25	資料 1-1	56	環境指標 3 4 有機農産物の作付面積	指標32, 指標33, 指標34, 指標38はそもそも母数となる作付面積や就労者が減少しているのが原因ではないのでしょうか。	コメント欄を下記のとおり修正いたします。 「 <u>高齢化等により県全体の就農者、作付面積が減少しており、さらに原発事故による風評等を理由に中断するケースもあることから、有機農産物の作付面積は減少傾向にある。</u> 」	環境保全農業課	渡邊委員

環境審議会委員からの事前意見について

No.	資料	ページ	項目	意見等	意見等への対応	担当課	委員
26	資料 1-1	57	環境指標 3 8 中山間地域等における 地域維持活動を行う面 積	指標32, 指標33, 指標34, 指標38はそもそも母数となる作付面 積や就労者が減少しているのが原因ではないのでしょうか。	事業の取組面積が目標に至っていない要因としては、 高齢化の進行だけでなく、農業の担い手不足や活動の 核となるリーダーの不在など様々ありますが、コメン ト欄には全てを列挙せずに主要な要因として「高齢化 の進行等」と記述いたしました。 なお、事業の要件が緩和されることで、中山間地域で 農地維持活動が行われる面積は微増傾向にあり、今後 も取組面積拡大を推進してまいります。	農村振興課	渡邊委員
27	資料 1-1	59	環境指標 4 3 生物多様性について理 解している人の割合	指標はほとんど進展しておらず、減少しています。「今後も引 き続き・・・」ではなく、方法等施策の見直しが必要であると 考えます。	コメント欄を下記のとおり修正いたします。 「令和元年度の県政世論調査によると生物多様性につ いて理解している人の割合は減少している。 <u>環境創造センター等環境教育施設での展示やHPの内 容を充実させ、より興味を持ってもらうようなものに 更新する。また、パンフレット・ポスター等を作成 し、生物多様性という言葉に触れる機会を創出するこ とを検討していく。」</u>	自然保護課	渡邊委員
28	資料 1-1	69	環境指標 6 8 環境創造センター交流 棟「コミュタン福島」 で環境学習を行った県 内小学校の割合	施策を確認できる指標が望ましいと思います。来館者であれば 一般の来館者数やリピータの数などを指標にし、来館者の意図 に応える運営を心掛ける必要があると思います。また、創造セ ンターの目的である環境動態、環境創造等に関する情報収集・ 提供の指標の検討も希望します。	指標の設定等については、環境基本計画の改定に合わ せて引き続き検討してまいります。	環境共生課	渡邊委員